

## 第23回関東地区高校生文芸大会 神奈川大会

松崎 心優

8月19日に行われた第23回関東地区高校生文芸大会神奈川大会に参加してきました。関東学院大学で行われ、金沢八景まで初めて行きました。少し遠かったですが、良い経験となりました。

### 〈講演会〉

文教大学情報学部メディア表現学部科の清水一彦教授の講演を聞きました。そこで、読者に読んでもらえる部誌を作るためにはどうすればよいのかといった内容の講演をして頂きました。フォント、写真の活用の仕方などたくさん技術を教えて頂きました。今までの部誌制作で使ったことのない word の機能や使い方など、初めて知る見せ方が色々あり、大変勉強になりました。また、レイアウトは掲載作品を良いものにするために盛り付けをしているのだと知りました。同じ写真でも配置する場所を変えるだけで雰囲気ガラリと変わることにも驚きました。講演の中で「千個良いものを吸収しても三個しか良いものは生まれえない」という言葉聞きました。これからも様々な作品の見せ方や工夫を見て吸収していくことが大切なのだと思えました。ここで学んだことを今後の作品制作に活かしていきたいと思えます。



### 〈分科会〉

大会に参加した62校の中から九校の代表が集まり、一つのグループとして活動しました。他の六校の部誌を評価し、その中でどの部誌が一番良いかを話し合いながら決めました。始めは皆とても静かでしたが、最初の自己紹介で大会運営委員会の方が準備や工夫をして下さっており、場を和ませてくれたので緊張がほぐれました。その後の評価会は、意見が飛び交い盛り上がりました。それぞれの高校で部誌の制作をするとき、掲載作品、レイアウト・イラスト・挿絵などそれぞれ力を入れている場所が違うことから、様々な視点の意見を聞くことができ、とても参考になりました。最終的には千葉市立千葉高校の部誌「瑪瑙」が私たちの分科会では一番となりました。私たち三年生は、コロナ禍で生徒だけの分科会が3年間行われなかったので最後に経験することができて良かったです。

この大会で得たものを二年生、一年生に伝え、本校文芸部の部誌がより多くの人たちの手に取ってもらえるように、これからも部員と切磋琢磨していきたいと思えます。

